

中学校美術科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	(1)	技法名 線遠近法	透視図法 もよい。	各 5 × 6	6 2
			技法 水平線と消失点を決めて描くことで遠近感を出す技法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		
		(2)	技法名 空気遠近法			
			技法 近くのもの濃くはっきりと、遠くのは淡く弱く表すことで遠近感を表現する技法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		
		(3)	技法名 大小遠近法	大小による遠近法 もよい。		
			技法 手前にあるものを大きく、遠くにあるものを小さく描くことで、奥行きや距離を表現する技法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		
	2	(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注ぎ口の形が、使った後に液体が垂れないようになっている。</li> <li>・安定するように下の方が大きくなっている。</li> <li>・ガラスにすることにより中身が見えるため、残りの量が一目で分かる。</li> <li>・首の部分を細くすることにより、持ちやすくなっている。</li> </ul>	1つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
		(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな文字でも消しやすいよう、角がたくさんある。</li> <li>・一つの角が減っても、別の新しい角が次々に使えるようになっている。</li> </ul>	1つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
	3	(1)	粘土、紙粘土、油土、漆及び石膏、セメントの直付けなど可塑性のある素材を盛りあげたり、付け足したりして表現する技法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 8 × 2	
		(2)	木や石などの素材を彫ったり、削ったりして形をつくり出していく技法。			
2	1	尾形光琳		5		
	2	参考作品	次の点を踏まえて、参考作品を描くとともに、制作意図を書いていること。 ・季節の風情や植物などを取り入れ、季節感を感じさせている。 ・形を単純化している。 ・材料のもつ性質を考え、そのよさを十分に生かす工夫をしている。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。 参考作品と制作意図が対応しているものだけを正答とする。	2 5	3 0

中学校美術科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
3	1	一定の空間や環境に作品を設置するなどして空間全体を作品化する手法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
	2	問	意図	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。 問いと意図が対応しているものだけを正答とする。	各 8 × 3
		あなたが作品の形や色彩、材料などに注目して観察し、見付けたこと、気付いたこと、考えたこと、疑問に思うことは何ですか。	形や色彩、材料などに視点を当てて表現されているものを言葉にしたり、造形的なよさや美しさを感じ取ったりさせる。		
		狼一匹一匹の形や全ての狼の動き、作品全体の大きさ、作品が置かれている環境について観察し、分かったことからどのようなことを感じますか。	狼一匹一匹の形や動き、材料などから感じ取れる造形的な特徴やイメージ、透明な壁と全ての狼のレイアウトなど、全体の調和や美術作品がその場にもたらす雰囲気などから、作品の特徴や印象などを感じ取らせる。		
多くの狼が見えない透明な壁にぶつかる様子と、作者が生きている現代の社会背景などを関連付けて考えると、作者は何を訴えたかったのだと思いますか。	主題と表現の工夫を関連させて捉え、作者の心情や創造性などについて考え、自分なりに作品を解釈させる。				
4	1	(ア) 創造的			各 5 × 3
		(イ) 美術の働き			
		(ウ) 心豊かな生活			
2	造形を豊かに捉える多様な視点であり、形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	30
3	生徒自らが感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に「自分は何を表したいのか、何をつくりたいのか、どういう思いで表現しようとしているのか」など、強く表したいことを心の中に思い描くこと。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	7	
5	次の点に留意して描いていること。 ○ 形を正確に捉えて表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって立体感を表現していること。 ○ 鉛筆の濃淡によって質感を表現していること。 ○ 画面にバランスよく構成していること。			各 1 2 × 4	